



行動規範



誠實第一

目次

CEOの挨拶	3	賄賂および不正行為の禁止	19
規範に従う	4	製品の品質と規制順守	21
助言を仰ぐ、問題を提起する	7	顧客、サプライヤー、規制局、ビジネスパートナーとの率直なコミュニケーション	21
報復の禁止	8	公正な競争	22
調査	8	貿易統制のコンプライアンス	23
コンプライアンスプログラムの構成	9	公正な商慣行	24
同僚およびビジネスパートナーを尊重する	10	資産の保護	25
差別の禁止	11	機密情報	26
安全な職場	11	ソーシャルメディア	27
ハラスメントの禁止	12	知的財産	27
従業員のプライバシー	13	財務記録	27
データの保護	13	透明化規制法	28
誠実な行動	14	記録保持	28
利害の対立	15	政治参加	29
金銭的な利益	16	慈善事業への寄付	29
個人の関係	16	コンプライアンス リソース	30
社外の雇用と活動	16		
ビジネス機会の個人的利用	16		
贈与、接待、その他の利害関係	17		
贈答品の提供	17		
贈答品の授受	17		
接待	18		
他者との会議	18		
出張	18		
リベートと値引き	18		



CEOの挨拶



Charlie Mills
最高経営責任者

社員の皆様へ

誠実第一。ただそれだけです。誠実性を第一に置くことにより、従業員、お客様、地域社会に Medline が常に正しいことをする雇用主であり、パートナーであることを示しています。

Medline は、全従業員のために前向きな仕事環境を推進します。そして、従業員の皆さまには、ビジネスのあらゆる部分でおよびお客様との交流場面において、率直かつ倫理的な行動を取ることを期待しています。努力とお客様への献身により築いてきた会社の評判を守り、維持することに努めています。

Medline の方針および手順に従って正しく行動することは従業員全員の責任です。行動規範は、当社の本質的価値と原則を説明し、政府機関、お客様、競合他社、および従業員個人の関係を統制するものです。行動規範は、当社の成功には欠かせない全ての従業員、会社環境、財産、モノなどを守るために作られています。これに守られた私たちは、お客様(医療従事者、医療機関)にサービスを提供でき、患者ケアを向上することができます。

行動規範は、Medline の従業員が日常業務で行うべき正しい決断および良識の代わりのもものではありません。何かの間違っていると感じたら、マネージャ、コンプライアンス法令遵守責任者、企業統治責任者、法務部責任者に相談します。Medline Ethics & Compliance Helpline(メドライン 倫理・コンプライアンスヘルプライン)は、ガイダンスや回答を得るために適したリソースです。質問する、誠実に報告する、適切な手順に従うことが不可欠です。

私たちは、必要なことのみではなく、正しい行動をするに取り組んでいます。整合性のある企業、ヘルスケア産業のリーダーという立場を維持するために私たちがすべきことを続けましょう。

Charlie Mills、
最高経営責任者(CEO)



規範に従う

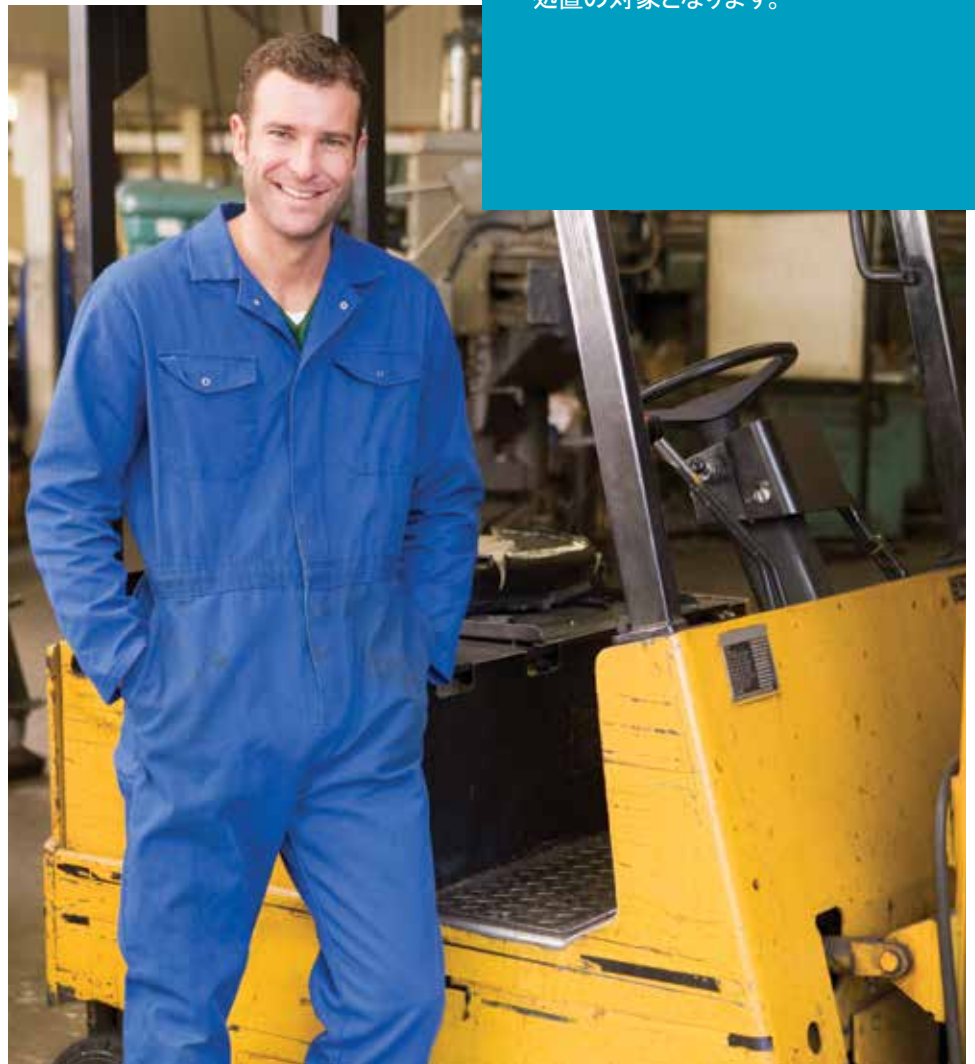
- 何をするときも誠実性を持って行います。
- 倫理的でないと思われる、または本規範の精神に反する状況に注意します。
- ビジネス活動が非倫理的または違法である、または本規範や他のコンプライアンス方針に違反すると思った場合は、質問します。
- 特定の人員に対する規範、コンプライアンス方針、その他の規程や規制に反すると思われる状況を報告します。
- 調査、ビジネス慣行の監査、倫理違反または違法な行為の可能性などについて全面的に協力します。



規範を理解し、それに従い、日常業務に適用します。

当社の行動規範は、当社の倫理およびコンプライアンスプログラムの基盤となるものです。誠実性のある正しい行動を実現するためのガイドとして機能します。本規範に従うことは、単純に規程に従うのみでなく、法律を遵守する、率直になる、信頼できる、当社のビジネス上のあらゆる取引において公平であることを約束します。本規範は、従業員、契約社員、経営責任者、および取締役会の役員を含み、当社で働くすべての人に適用されます。顧客、競合他社、サプライヤーを含む当社と交流のある全員に対して、当社の高い倫理およびビジネス基準に対する取り組みを共有するよう期待しています。

従業員は、倫理およびコンプライアンスのトレーニングに参加して、法的、倫理的必要項目および会社のコンプライアンスに関する知識および理解を深める義務があります。また、定期的に本規範を読み、理解し、それに従うことが求められています。



質問と回答

問：規範に違反した人はどうなるか？

答：規範に違反した個人(従業員の違反を検知し報告するための適切な管理および監督責任を果たさなかった個人を含む)は、解雇を含む是正処置の対象となります。



質問と回答

問: 当社のコンプライアンス規程はどこにありますか?

答: Medline のコンプライアンス規程は、各地のコンプライアンス用のイントラネットサイトでご覧いただけます。見つからない場合は、上司または別のコンプライアンスリソースにお問い合わせください。

従業員は、本規範を最も重要な倫理およびコンプライアンスのリソースとして捉え、自分または他人の行動により倫理的問題が発生する懸念がある場合に参照しなければなりません。本規範は、会社に適用される倫理的原則および規程概要を示すものであり、会社では、それらをさらに詳しく説明する特定の規程を定めています。それらについて疑問がある場合は、必ず各規程を参照してくだ

さい。規定と本規範、または地域法と規範の間に矛盾があると思われる場合は、適切なコンプライアンスリソース(ページ30-31参照)に連絡してください。

注意点

本規範を参照する、または会社の規程を参照することにより、疑問や倫理的葛藤の解決の役に立ちますが、それでもある状況が発生する場合や、「何かおかしい」と感じる場合があります。何か違和感を覚える場合は、コンプライアンスリソースのいずれかに相談してください。





“Medline では、従業員が互いに質問し合い、報復の恐怖を感じることなく懸念を提起できることを望んでいる。”

助言を仰ぐ、問題を提起する

従業員には、本規範に違反すると思われる行為に気付いたら、それについて質問または即座に報告する義務があります。当社には、質問への応答や、違反の可能性への対応を支援する連絡先として以下に挙げるコンプライアンスリソースが定められています。

- » 従業員の上司
- » コンプライアンス(法令遵守)責任者、企業統治責任者
- » 人事部担当者
- » 法務部責任者
- » 法務部およびコンプライアンス部の担当者(欧州:EU(欧州連合)またはEEA(欧州経済地域)に属する場合)
- » 地域の倫理・コンプライアンス事務所
- » Medline の倫理・コンプライアンスヘルプライン

Medline の倫理・コンプライアンスヘルプライン

会社としては、一覧したコンプライアンスリソースのいずれかに直接懸念を提起することを奨励していますが、それが常に従業員にとって安心できる方法でないことも理解しています。匿名を希望する場合は、24時間対応可能なフリーダイヤルの Medline 倫理・コンプライアンスヘルプラインに懸念を提起することができます。(電話番号は、本書最後の一覧を参照するか、インターネットの www.medlineethicsandcompliancehelpline.ethicspoint.com を参照してください。)

米国外の一部の国では、地域法ですべてのまたは特定の問題に関して、ヘルプラインの使用または匿名の報告を制限している場合があります。Medline は、適用されるすべてのデータプライバシーポリシーに準拠しています。地域法により特定の報告が禁止または制限されている場合、従業員は、問題を提起する際に自分の名前を告げるか、ヘルプラインを使って報告しなければなりません。会社では、(地域法で禁止されていない限り)報告された内容は機密情報として取り扱い、報告者はいつでも報告の内

質問と回答

問: ヘルプラインはどのような仕組みですか?

答: 電話をかけると、Medline に属していない専門の訓練を受けた担当者が応対し、Medline 倫理・コンプライアンスヘルプラインとして対応します。次に、新しい報告か、以前の報告に関する問い合わせかを確認します。最初の通話以外は、この手順に従う必要はありません。最初の通話時間は、報告する内容により異なります。レポートに含まれる情報は可能な限り機密情報として扱います。通常、報告を処理する責任のある社内の特定の者のみが内容を見ることができます。

質問と回答

問: ヘルプラインは多言語に対応していますか?

答: はい。オペレータは、多言語で応答することができます。したがって、スペイン語で事件の報告または状況の説明をする場合、そのようにできます。ただし、電話したときに通訳者が不在の場合は、掛け直してもらおうよう頼まれる場合があります。

問: ヘルプラインで報告できるのはどのような状況ですか?

答: ほとんどの国において、従業員は、本規範および他の規範の違反やその可能性を含む倫理およびコンプライアンスに関する懸念が報告できます。一部の国では、地域法により、ヘルプラインで報告できる問題が制限されています。詳しくは、ヘルプラインのウェブサイトをご覧ください。それらの国では、Medline のコンプライアンスリソース (ページ30-31参照)を使って質問および報告を行うことができます。



容を更新および編集することができます。地域法について質問がある場合は、プライバシーポリシーおよびインターネットサイトに公開されている該当する地域の情報を参照するか、個人情報管理責任者でもあるコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者に問い合わせてください。

報告書

コンプライアンスおよび倫理の違反を書面で報告したい場合は、報告書に「Confidential - To Be Opened by The Chief Compliance and Corporate Integrity Officer」(社外秘 - コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者宛)と明記して、以下の住所に送付します。

宛先: Chief Compliance and Integrity Officer, One Medline Place, Mundelein, Illinois 60060 U. S. A.

報復の禁止

当社は、誠意を持って本規範の違反および違反の可能性を報告した人に対する報復行為を禁止しています。誠意を持って不正行為の疑いを報告した個人に対して報復を行った人物は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

調査

コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者は、報告されたすべての規範違反を即座に調査します。各調査の内容は、法的義務の許す限りそれに遵守して機密情報として扱います。

特定の状況において、倫理およびコンプライアンスに関する懸念を報告したことがなくても、調査の一環で従業員が質問されることがあります。報告された規範違反の調査において、誰もが全面的に、正直に協力するよう期待されています。調査により規程違反の発生が確認されると、コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者が適切な経営幹部と協力して、適切なフォローアップを実施して、違反行為が無くなったこと、再発防止が実施されていることを確認します。調査には、政府への公開や法的手続きの実施が伴うことがあります。

当社の規程では、政府の調査が行われた場合に、従業員の迅速かつ全面的な協力を義務付けています。政府の調査または審理が開始された、または開始されると思われる情報を入手した場合は、法務部責任者に即座に報告しなければなりません。政府機関から召喚、監査請求、検査通知などの書類提出の要請を受け取った場合は、可能な限り早くその書類を法務部責任者に転送する必要があります。当社の政府の調査に関する規程では、書面または口頭による政府の要請への応答について詳しいガイダンスを提供しています。

質問と回答

問:「報復を受ける」の本当の意味は？

答: 懸念を報告した後にその個人に対する扱いが異なることで、この状態を報復の状態にあると見なすことができます。懸念を提起した結果その個人が解雇または降格される、仕事に関連する昼食会議から除外された、会社の別の部署に転属されたなど、あらゆる形の報復行為は厳密に禁止されています。報復だと思われる行為について質問がある場合は、当社のコンプライアンスリソースのいずれかに相談してください。

注意点

当社の管理チームおよび管理職者は、会社の倫理およびコンプライアンスへの取り組みで重要な役割を担っています。管理チームのメンバーおよび管理職者は、本模範を示し、常に誠実性のある文化を作り、維持することが期待されています。つまり、倫理的な行動を最優先するということです。また、従業員が安心して質問ができ、倫理およびコンプライアンスに関する懸念の可能性を提起できる職場環境を維持することも意味しています。





同僚およびビジネスパートナーを 尊重する

- 同僚および共に働く人たちの多様性を認めます。
- 自身および他人への対応について懸念がある場合は、はっきりと言いましょう。
- 仕事に徹した協力的な職場環境を維持するよう努力します。
- 個人情報および互いの情報、および当社の顧客およびビジネスパートナーの情報を扱う場合は細心の注意を払います。
- 当社の日常的なビジネス活動において従業員および顧客の安全と安心を考慮します。



私たちの目標は、差別やハラスメントのない安全な職場環境を築くことである。”

差別の禁止

当社では、人種、宗教、性別、性的指向、その他適応法で保護されている特性に関係なく、従業員に平等の機会を与えています。差別のない職場への取り組みの一環として、当社では、すべての雇用、昇進、その他の雇用に関連する決断は、業務に関連する資格に基づいてのみ行っています。

安全な職場

Medline では、全従業員の健康と安全を大切にしています。職務中の安全性リスクには警戒することが必要です。職場に適用される緊急手順を把握し、自身を含む周囲の人たちの安全と安心を確保するよう行動します。

Medline は、常に職務上の安全衛生法に遵守しています。

安全または健康に関する懸念に気付いたら、コンプライアンスリソース (ページ 30-31)のいずれかに即座に報告しなければなりません。

安全と健康に関する Medline の規程については、自分の職場に適用される「従業員の手引き」および「職場の安全規程」を参照してください。



注意点

Medline では、法律で保護されている特性に基づいた差別やハラスメントは禁止しています。地域法により、以下が含まれます。

- 人種
- 宗教
- 性別
- 肌の色
- 国籍、民族的出身
- 年齢
- 性的指向
- 軍隊在籍または退役の状態
- 配偶者の有無/既婚または未婚
- 身体障害
- 妊娠の有無
- 政治観
- 言語
- 考え方
- 信仰
- 家族環境



質問と回答

問: ハラスメントとは常に性的な性質があるものと言えますか？

答: いいえ。ハラスメントには、いじめ、脅し、否定的な固定概念、その他の適用法により保護されている特性に基づく否定的な扱いなどを含む、個人を不快にさせるあらゆる行為が含まれます。

ハラスメントの禁止

当社では、お互いの尊重を最優先にする職場を推進しています。不快な職場環境を作り出すハラスメントはいかなる形でも容認されません。セクシャルハラスメントは、特定のタイプのハラスメントであり、それには以下が含まれます。

» 言葉によるハラスメント:
書面または口語による下品、ひわい、性的に挑発的な言葉、性的な意味を持つ冗談、メール、口説き、意見、あからさまな脅迫、不快な口調の会話

» 物理的なハラスメント:
触るなど不快な接触

» 視覚的なハラスメント:
性的に露骨な仕草、写真、人を性的な対象として表現する物(カレンダー、ポスター、インターネット画像、雑誌、落書きなど)など不快を与える露出



当社のプライバシーおよびデータ保護の取り組みは、従業員以外にも、当社のビジネスパートナーまで適用されている。”

当社は、当社が事業を遂行するすべての国における個人情報およびデータの使用および管理を統制する法律および契約に遵守しています。

従業員のプライバシー

当社の従業員および当社の代理として働くすべての人の個人情報を尊重することは、当社が最も優先していることです。業務上必要な閲覧または使用する人物のみが、従業員の個人情報のアクセスを許可されています。このような業務を担う従業員は全員、機密情報を扱う際は、個人を尊重し、細心の注意を払うよう求めています。

データの保護

当社の顧客およびビジネスパートナーは、日常的に機密データを当社に預け、慎重に扱い、ビジネス上の目的にのみ使用するよう当社に求めています。このデータには、個人の医療情報など、最も機密性の高い情報が含まれます。当社は、この種のデータに関連する適用法（個人情報保護法や当社がビジネスを行うあらゆる国および地域における個人の医療情報保護に関する法律など）に遵守しています。機密情報はすべて自分の個人情報と同じように扱い、許可がある場合にのみ共有します。

詳しくは、データ保護、地域のプライバシーとセキュリティ規程を参照してください。

質問と回答

問：職務上目にする可能性のある個人情報には例えば何がありますか？

答：個人情報とは、その個人を特定可能な個人の情報のことを言います。例えば、給与情報またはその他の財務情報を参照にすることは、個人情報と見なされます。また、顧客名および住所の一覧も機密情報です。

注意点

一部の国では、個人データを国境を越えて転送することを法律で制限しています。このような場合も従わなければなりません。これらの法律は、その情報が他の従業員または顧客に関連するかどうかに関わらず、あらゆる種類の個人情報に適用されます。個人情報またはデータの取り扱いについて疑問がある場合は、個人情報管理責任者でもあるコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者に問い合わせてください。





誠実な行動

- 会社の利益を最大限に促す決断をしなければなりません。
- ビジネス上の決断および行動に影響を与える可能性のある高価な物の提供および受け取りは固く禁じます。
- ビジネスの獲得は、当社の製品およびサービスの長所に基づいて、公平および率直に行います。
- 当社の製品を安全に使用することを規制するすべての文面および精神に従います。
- また、当社がビジネスを行う各地域に適用されるすべての法律に従います。



利害の対立を理解し回避することは、会社の利益を最優先しながら誠実性を持って行動するために不可欠である。”

利害の対立

常に会社の利益を最大限に考えて行動することが大事です。利害の対立は、個人の利益が会社の利益に干渉(または対立)する場合に発生します。従業員は、利害の対立を作る、または利害の対立が生じる可能性のある活動は避けなければなりません。これには、親戚、家族、親しい友人が関与する利害関係および活動も含まれます。利害の対立

が生じる状況に気付いた、または利害の対立が存在する可能性のある状況について疑問がある場合は、適切な対策についてコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者に相談することが重要です。

本規範では、利害の対立のあらゆる種類を一覧することは不可能ですが、次のセクションでは、一般的に避けるべき活動の例をいくつか紹介しています。場合によっては、特定の活動に参加すること あらかじめ書面による通知を提出し、法務部責任者、コンプライアンス(法令遵守)責任者、および企業統治責任者の承認を得ることで可能になることもあります。

注意点

利害の対立が生じる、または利害の対立が生じるように見える状況または活動を開示することは、特定された活動を常に禁止するものではありません。利害の対立または利害の対立の可能性において重要な点は、状況または活動を Medline の適切な個人に開示して審査および対応を依頼することです。場合によっては、討議および審査の後、従業員または会社に対して利害の対立を生じることなく特定の活動に参加できることがあります。



質問と回答

問: Medline のサプライヤーまたは顧客である会社の株式を保有すると常に利害の対立が生じますか？

答: 持ち株制度は常に利害の衝突が生じるとは限りません。例えば、Medline と取引のある、または競合関係にある大手株式会社の株を少し持っていますが、通常は利害の対立にはなりません。株式利益について疑問がある場合は、利害の対立に関する規程を見直すか、コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者に相談してください。

金銭的な利益

金銭的な利益は、利害の対立を作る、または利害の対立が生じる可能性があります。利害の対立は、以下を対象に直接的または間接的な金銭的利益を持つ場合に生じます。

- » Medline の顧客
- » Medline と取引のある会社
- » Medline の競合他社

従業員がこの種の金銭的な利益を保持する場合は、それが Medline との雇用の以前に発生していても、その存在を公表しなければなりません。

個人の関係

利害の対立は、Medline と取引のある個人、または取引をしたいと思っている個人と個人的な関係がある場合に生じることがあります。例えば、利害の対立は、親しい親戚のひとり、家族の一員、または友人の一人が Medline のサプライヤーになる、または競合他社に就職すると生じる可能性があります。

あなたが個人的に親しい従業員の上司または部下である場合、または個人的に親しい個人の雇用、契約更新、または新規契約に関与している場合、利害の対立または利害の対立が生じる可能性を作る場合があります。

社外の就労と活動

社外の就労は、会社への忠誠心から個人的な利害関係が逸脱する可能性がある場合に、利害の対立が生じます。通常、Medline と取引がある、または競合関係にある会社で副業をすることはできません。Medline での職務遂行に抵触する可能性のある、ボランティアを含む副業またはその他の活動は避けなければなりません。

ビジネス機会の個人的利用

Medline に与えられた機会を個人的に利用すると利害の対立が生じます。Medline での職務上発掘した機会(当然 Medline に属する機会)を隠したり、個人的に利用したりしては絶対になりません。



会社の規程では、ビジネスパートナーとの相互の利益供与を厳しく禁止している。”

贈与、接待、その他の利害関係

ヘルスケアプロバイダやその他の事業関係者と贈与物の交換、接待、およびその他の利害関係を得ることを規制する特定の法律および会社規程があります。したがって、それらの規定を理解し、正しい決断をすることが非常に重要です。

贈答品の提供

原則として、顧客、見込客、ヘルスケアプロバイダに対して贈答品を提供することは許されていません。ただし、例外もあります。詳しくは、会社の規程を注意して参照してください。それでも例外が適用される状況について不確かな場合は、贈答品を提供する前にコンプライアンス事務所に相談してください。

贈答品の授受

限られた状況下において、贈答品の授受が認められる場合があります。従業員は、ベンダーから贈答品を送られた場合、ビジネス上の決断に影響を与える、または与えるように見える場合があるため、特に細心の注意が必要です。

通常、以下の場合に限り贈答品を授受することができます。

- » 勧誘性がない
- » 商慣行および相手の規程と合致している
- » 高価でない
- » 従業員の職務または判断に影響を与えようとしていない、またはその様に見受けられない

金額の限界など詳細については、地域の「ビジネスパートナーからの贈答品の授受」規程を参照してください。

質問と回答

問: 受け取っても良い贈答品には何がありますか？

答: 例:

- » 安価な品物(ペン、マグカップ、カレンダーなど)
- » 頻繁でない適度な価格のランチ
- » 従業員同士で共有できるお土産(食品)

贈答品の提供を受けたときに受け取って良いかどうか不確かな場合は、コンプライアンスリソースのいずれかに相談してください。

注意点

贈与の中には、特に以下に挙げる項目は厳しく禁止されています。

- 現金または現金同等物(商品券を含む)
- 高価な品物
- 受け取り側の贈与規程に違反する贈答品



食事

Medline は、食事の提供について特定の規程を定めています。原則として、ビジネスが目的の偶発的で適度な価格の食事は許されています。

詳しくは、地域の「食事」規程を参照してください。

接待費

ヘルスケアプロバイダまたは政府関係者に対するスポーツイベントや娯楽性のある活動への招待券などの接待は許されません。

リベートと値引き

状況によってはリベートやその他の形で提供される値引きの提供が適している場合もありますが、それらには Medline の特定の規程が定められていることを忘れてはいけません。また、それらは法務部責任者またはコンプライアンス(法令遵守)責任者、企業統治責任者による審査および承認がある場合にのみ許可されています。



出張旅費

出張旅費の支払いは、特定の規程で管理されています。原則として、会社の施設への往復である場合を除いて、顧客、見込客、ヘルスケアプロバイダの旅費を負担することは認められていません。

詳しくは、地域の「顧客の旅費の支払い」規程を参照してください。

会議および専門議会

会社は、社外機関(「第三者会議」)が主催する、科学的知識、医学の進歩、効率的なヘルスケアの提供を促進する公式の独立した、教育、科学、方針決定などに関する会議への出席をサポートします。

会議を協賛または主催したい場合は、コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者による事前の承認が必要です。欧州の場合は、欧州担当の法務およびコンプライアンス担当者に相談してください。

注意点

米国内でビジネスを行うとき、政府の顧客および職員と取引する場合は、より厳しい規定が適用されます。例えば、退役軍人局病院に代表される公立病院に勤務する公務員と取引を行う場合、価値のある物を贈呈する前に、「公務員との利害関係」規程を参照してください。法律および当社の規程で何が許可されているか不確かな場合は、法務部責任者またはコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者に相談してください。





私たちは、ビジネス活動または決断上の便宜を計ってもらうことなどの見返りを期待して価値のある物を提供しては絶対にならない。この原則は、当社のグローバル事業およびすべてのビジネスパートナーに適用される。”

賄賂および不正行為の禁止

取引を獲得または維持することを意図した、または不当なビジネス上の優位性を得る目的のある価値のある物はすべてを提供したり授受したりしては絶対になりません。つまり、従業員は絶対に、自分のビジネス上の決断に影響を与える場合、または取引のある担当者および会社の決断に影響を与えると見なされる場合に、あらゆる形の個人的な利益を提供または授受してはなりません。賄賂に関する法律では、現金のみでなく、「価値のあるものすべて」という用語を採用しています。これには、機密情報の交換、寄付金または政治献金の要請、就職の推薦やビジネスの紹介の提供または授受など、便宜を図ることも含まれます。

米国およびその他の多くの国では、米国の海外腐敗行為防止法（「FCPA」）などの、世界中の事業を行う国において賄賂および不正行為を厳しく禁止する法律を採用しています。特に、FCPAでは公務員への賄賂を禁止しています。英国贈収賄防止法 2010（英国贈収賄防止法）も、すべての営利事業における賄賂を禁止しています。

賄賂と不正行為を統括する国際法は異なる場合もありますが、当社はグローバルな活動においても、同じ原則を適用しています。当社では、公務員または政府役員、すべての営利事業パートナーを含む、取引相手に対する賄賂および不正行為を禁止しています。また、当社の代理店、サプライヤー、およびその他すべてのビジネスパートナーに対しても、これらの原則を掲げ、準拠することを求めています。

質問と回答

問：公務員とは誰が対象ですか？

答：「公務員」または「政府関係者」という用語には幅広い意味があります。政府機関または政府所有の事業に従事する人すべてを含み、公職候補者も含めます。これには、政府に関連する業務を行う人、規制局、税関検査官、税務署員などの職務に準拠する人、選挙または任命を受けた人を含めます。また、米国外の病院は、政府所有または国営の場合が多いため、米国外の病院職員および総務職員も含めます。



質問と回答

問: コンサルタントや第三者を雇用する場合の注意すべき事柄は何ですか？

答: 代理店および仲介人を使う場合は、彼らに不正行為があった場合に会社が責任を負う場合があるため、特に慎重に行う必要があります。第三者を採用する場合は、以下に挙げる配慮すべき危険信号(レッドフラグ)があります。

- » 第三者が政府職員である、政府職員の親戚または友人である、または公職候補者であるかどうか
- » 代理店または仲介人が現金による「前払い」、第三機関または国外への支払いを求めているかどうか
- » 該当する活動が代理店または仲介人の主要事業であるかどうか

代理店または仲介人を雇用する前には必ずコンプライアンスリソース(ページ30-31参照)に相談してください。米国外の場合は、代理店、仲介人、またはその他のビジネスパートナーまたは第三機関の雇用について特定の規程が適用されます。

この取り組みは、当社がビジネスを行うすべての国において、地域法および慣習に関わらず適用されます。FCPAと英国贈収賄防止法の双方を含む、賄賂禁止法に違反すると、会社および個人の双方が刑事および民事上の罰則が科せられる場合があります。

これらの罰則は、厳しい場合があり、多額の罰金または禁固刑が科せられる場合もあります。

詳しくは、当社の不正行為禁止規定で確認してください。

注意点

Medline は、ヘルスケアプロバイダおよびその代理店または従業員に対して提供される可能性のある利益を限定する規程を採用し、米国連邦反キックバック法、連邦海外腐敗行為防止法、および当社の業務に適用される州および地域法を含むその他の法律の要件に遵守しています。

直接的または間接的に、公然または極秘に、現金または現物で、ヘルスケアプロバイダまたはヘルスケアプロバイダの仲介人に対して、製品およびサービスの購入、リース、注文または手配させる、または購入、リース、注文を勧めるために、報酬(キックバック、賄賂、リベートなど)を絶対に提示または提供してはなりません。質問がある場合は、法務部責任者、コンプライアンス(法令遵守)責任者、企業統治責任者、欧州の場合は欧州担当の法務およびコンプライアンス担当者にお問い合わせください。



顧客、ビジネスパートナー、競合他社との交流において、私たちは、正直で率直であり、すべての法律および規制に遵守しなければなりません。”

製品の品質と 規制コンプライアンス

当社は、自社の製品とサービスの長所に基づくビジネスを追及し、維持するよう取り組んでいます。個人の健康を改善する製品を作り、サービスを提供することは、当社のビジネスにとって不可欠であり、当社の製品およびサービスの品質および使用に関する法的規制に遵守する取り組みが求められています。

当社の製品に影響するすべての規制に遵守することは、私たちの義務です。米国食品医薬品局（「FDA」）などの関連する地域の規制機関による承認または認可の対象になっている製品は絶対に推進しません。また、認可および承認された製品とは異なり、認可されていない製品の使用は絶対に推進してはなりません。

顧客、サプライヤー、規制局、ビジネスパートナーとの率直なコミュニケーション

当社は隠し事なく率直にビジネスでの競争を行っていると考えています。当社の広告およびマーケティングは、常に真実で、直接的であり、技術および化学面では、データで立証されています。

マーケティング関連品は、関連するすべての法的規制に遵守しなければならないことを忘れないでください。例えば、米国の場合、マーケティング関連品は、米

国食品医薬品局（「FDA」）の規制および米国反キックバック法に遵守していなければなりません。詳しくは、コンプライアンスリソースを参照してください。社内に配布する前、または顧客または社外機関と共有する前に、適切な会社の手順および地域法に従ってすべてのマーケティング関連品を審査してください。



注意点

虚偽の発言や誤解を招く意見（競合他社の製品、サービス、従業員に対する発言も含む）を言及してはいけません。Medline の製品およびサービスと競合他社のそれを比較する発言は、公平で真実でなければなりません。競合他社が見込客に対して誤解を招く発言をしている疑いがある場合は、コンプライアンスリソース（ページ30-31参照）のいずれかに報告してください。



公正な競争

独占禁止法および競争法では、会社の競合他社およびサプライヤーとの関係において、幅広い活動および慣行を禁止しています。ビジネスを行っている場所によっては、競争法に司法権が適用されます。これらの法律は、ビジネスにとって健全で、消費者にとって良い適切な競争を促進させるという点で重要です。この法律は複雑で、違反すると、会社および個人にとって非常に厳しい処罰が科せられます。

私たちは、価格操作、不当な貿易規制、市場における競争の不当な規制などが関与する、または関与するよう見える行為は避けなければなりません。承諾や合意を含む禁止されている活動には以下が挙げられます。

- › 競合他社と合意する、または製品、市場、顧客、販売区域を配分する
- › 見込客との取引を拒否する、または特定の条件のみでの取引を行う
- › 特定のサプライヤーをボイコットする

› 製品の製造、販売、生産、流通を控える、または制限する

› 談合する

競合他社と競合情報を話題にすることも厳しく禁止されています。

競合情報には、以下が含まれます。

- › 販売価格または価格決定方針
- › 流通政策
- › サプライヤーおよび顧客の選択
- › 入札
- › 値引き、プロモーション、利益、費用、条件など

以下の合意には、法務部責任者またはコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者による事前の承認が必要です。

- » 顧客がある製品を購入すれば別の製品が購入できるという条件を付けた合意
- » 顧客が複数の製品ラインの購入を約束すれば値引きするという条件を付けた合意
- » 顧客の製品移行をサポートするコンサルティングサービスを購入に追加するなど、製品の購入に「付加価値」を付けた合意

貿易統制のコンプライアンス

健全な商慣行とは、輸出管理を統制し、経済制裁を強制する法律に従うという意味があります。これらの法律は、特定の製品および技術データを国境を越えて輸出することを制限し、特定の国、組織、個人とのその他の取引を制限します。これらの法律は複雑で、会社に深刻な結果をもたらすことがあります。当社の国際ビジネスに関与している場

合は、適用される法律および規制を理解するよう求められます。

これらの法律について疑問がある、またはそれらが顧客および競合他社との交流にどう影響するかについて質問がある場合は、国際貿易コンプライアンス担当者、コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者、または法務部責任者にお問い合わせください。





公正な商慣行

- 会社の資産は守ります。
- 機密情報は慎重に取り扱います。
- あらゆるビジネス上のコミュニケーションにおいて、事実に基づき、プロ意識を持ち、丁寧でなければなりません。
- 会社の記録を作成および扱う場合は、注意して入念かつ綿密に行います。
- 地域社会に恩返しし、サポートします。



会社の資産を守ることは、従業員の重要な義務である。”

資産の保護

会社の資産を守ることはビジネス成功に欠かせません。会社の資産には、物理的な資産(会社の建物、設備、備品など)と財政的な資産、コミュニケーションシステム、情報資産、知的財産などがあります。これらの資産は、慎重に使用し、損傷、浪費、誤用、盗難から守らなければなりません。

通常、従業員はビジネス上の目的のみ会社の資産を使用します。(オフィスを出る前にインターネットで渋滞情報を調べるなど)用途を限定して、会社の資産を個人的に利用できる場合があります。これは、正しい判断と一般常識の範囲とします。

就業中および会社の所有物システム使用時の発言や文書はすべて Medline に反映されます。そのため、会社には、個人情報保護法を含む地域法または適用法で規制されていない限り、電子媒体および通信の使用を監視する権利があります。

コンピューターおよび電子媒体の使用に関する当社の規程についての詳細は、地域のイントラネットサイトを参照してください。



質問と回答

問: 顧客と商談する場合、自分が責任を持って機密情報を使用していることをどのように確認できますか？

答: 顧客と商談するときは、特に慎重に機密情報を扱わなければなりません。その情報を開示する許可を得ているか、適切な手順すべてを遵守しているかを確認する必要があります。顧客との関係に必要なからという理由だけで機密情報を顧客に開示しては絶対にいけません。この機密情報には、会社に関する情報、別の顧客または第三機関が当社を信用して開示した情報が含まれます。また、顧客の企業秘密情報へのアクセスを得る代わりに、価値のある物を顧客に贈呈することも決して許されません。当社の従業員および競合他社を含む相手とのビジネス上の交流においても同様の原則が適用されます。

機密情報

当社の機密情報、および顧客やビジネスパートナーが当社に開示した機密情報は特に注意が必要です。機密情報には、公共または他のビジネスパートナーに公表されていないすべての情報が含まれます。

機密情報には以下が含まれます。(これに限定されません)

- » 顧客リスト
- » 価格リスト
- » 財務データ
- » 販売数
- » 支払人情報

- » 製造工程
- » コンピュータープログラム
- » 新製品の計画またはプログラム
- » 販売戦略
- » サプライヤーのリスト
- » 賃金、給与

絶対に機密情報を個人的な目的に使用してはなりません。機密情報を扱う際は、慎重に行い、不正な使用や開示が行われないように守らなければなりません。職務上知り得た機密情報を使用して、株式や会社の他の証券の売り買いを行うことは違法です。



注意点

機密情報を扱う際は、会社の従業員および代理店には以下の責任が課せられます。

- Medline で勤務している間、および退社後も開示してはならない
- Medline に関する情報に限らず、職務中に知り得た会社のサプライヤー、顧客、Medline がビジネスを行うその他の個人または団体に関する情報を開示してはならない
- 特に Medline の通信システムを使用して転送する場合は、機密情報を適切な相手のみが共有するよう全力を尽くし、機密情報を保護するための会社の手順すべてに従う

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアを使用する場合、その使用が個人的または業務上の目的であるかに関わらず、責任を持って行わなければなりません。個人的な目的でソーシャルメディアの活動に参加する場合は、会社、顧客、その他のビジネスパートナーの情報を含み、Medline の職務上知り得た機密情報を開示しないよう気を付けなければなりません。常にす

べてのソーシャルメディアの公共性を尊重し、考慮して行動してください。また、自分個人の見解を表現するのみに留め、決して Medline を代表した意見であると思われるような表現をしてはなりません。ビジネスに関連してソーシャルメディアを使用する場合は、上司および法務部責任者、またはコンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者による承認を得た上で、適用される会社の規程に従います。

知的財産

特許、企業秘密、商標および著作権などの知的財産を守ることは、会社としての成功に必要不可欠です。また、他人の知的財産も尊重しなければなりません。

知的財産の保護について疑問がある場合は、法務部責任者にお問い合わせください。



会社の記録は、すべての要件に従って真実を正確に保持されている。”

財務記録

明確、完全、正確な帳簿と記録を維持することは、ビジネスの適切な管理において重要であり、Medline と顧客およびビジネスパートナーとの率直かつ信頼性の高い関係を維持するのに役立ちます。当社では、財務記録は、一般に認められている会計規程に従って維持するよう取り組んでいます。この取り組みを実現するため、従業員はすべての商取引、領収書、および資金の支払いを迅速かつ正確に記録する必要があります。これには、経費報告書、タイムカード、給与支払帳、その他の会社記録が含まれます。

すべきこととすべきでないこと

すべきこと

- 費用が適切かどうか疑問に思ったら、Medline の経費払戻規程を参照するか、コンプライアンスリソースに相談する
- 領収書など適切な書類を保管し、Medline が資金の適切な使用を確認できるようにする
- 会社の経費規定に違反した疑いがある場合は、即座にその事象を報告し、間違いを正すための適切な対処ができるようにする

すべきでないこと

- 不適切な経費を経費報告書で粉飾したり、上司に曖昧な説明をしたりして隠蔽する。接待費を自己負担したとしても、会社を代表した活動の場合は経費と見なされることを忘れないでください。
- 会社の規程で定められた限界を超えた費用について虚偽の報告をしたり、隠蔽しようとする。例えば、同僚と費用を折半したり、別の請求期間で経費報告したり、領収書または贈答品の数を変えたりしてはいけません。



質問と回答

問：過去の経費報告書の間違いに気付いたときはどうすべきですか？

答：常に正確な記録を維持することは非常に重要です。経費報告書の間違いに気付いたら、会社の規程に従って記録の修正を助言できる立場の上司にその間違いについて報告します。

透明化規制法

医療業界に影響を与え、会社とヘルスケアプロバイダ間の財務取引の開示を要求する特定の透明化規制法があります。法律では、会社に対してこれらの情報を報告することを義務付けるものですが、報告を求められた場合は、コンプライアンス(法令遵守)責任者および企業統治責任者、法務部責任者と全面的に協力して、正確かつ完全な情報が提供されるようにすることが重要です。

記録保持

記録の保持に関連するすべての適用法および規制に遵守することは、会社の明確、正確、完全な記録を維持するという取り組みの一環として重要です。自分の地域に電子のおよび紙の記録の維持および廃棄に関連する記録管理法または記録管理規程が存在する場合は、それらを熟知している必要があります。会社の記録を修正、改ざん、隠蔽、誤って伝える行為は絶対に許されません。記録の誤りや誤記に気付いた場合は、上司またはコンプライアンスリソース(ページ30-31参照)のいずれかに適切な処置について指示を仰いでください。



寄付金や政治的活動への参加は、地域社会に対する会社の取り組みに影響を与える。”

政治参加

政治的な活動に参加することは、個人的な選択であり、必ず個人の時間に自己負担で行わなければなりません。監督する立場にある個人が部下に寄付を募る行為は決して適切ではありません。

慈善事業への寄付

Medline は、さまざまな正当な理由の下に、寄付をすることで地域社会へ貢献しています。この活動は、当社の規程に従って行われています。これにより、ヘルスケアプロバイダ、ヘルスケア関連の慈善団体を支援し、一般的に病に苦しむ、または歴史的に恵まれないグルー

プの健康と快適な生活の推進に役立てられています。また、災害(ハリケーン、洪水、地震など)の被害者を救済する、または第三世界諸国の状態を救済する人道的任務を支援しています。

寄付を受ける側、または見込み受領者の会員などによる、過去、現在、または予測される未来のビジネスを期待する目的で擁護したり、寄付したりすることは決して適切ではありません。

詳しくは、地域のイントラネットサイトに掲載されている「寄付に関する規程」を参照してください。

注意点

Medline が顧客の慈善活動に対して寄付することが許される場合があります。Medline は、その活動が地域社会の改善という会社の慈善任務と合致し、ビジネス上の優位性を獲得するためのものでない場合に限りこのような取り組みを支援します。質問がある場合は、地域のイントラネットサイトに掲載されている「寄付に関する規程」を参照するか、コンプライアンスリソースのいずれかにお問い合わせください。

質問と回答

問: 政治的な活動に参加する前には、どのようなガイドラインを参照すべきですか？

答: 以下のガイダンスに従ってください。

- » いかなる政治活動および候補活動の支援において、Medline の所有物および施設を使用することは決して適切ではありません。
- » 常に自分の政治的信念は個人的な信念であることを明らかにし、会社の信念であるような発言は絶対にしてはなりません。
- » 上司が部下に対して政治的な活動への参加を促したり、特定の候補者に投票することを雇用、または昇給または賞与などの報酬の条件にしたりしては絶対になりません。
- » 会社では、政治献金に対する払戻しは行っていません。

コンプライアンスリソース

連絡先

質問があるときに適切な連絡先を知るのには簡単ではありません。Medline では、倫理およびコンプライアンスに関連する質問をする、または疑念を提起する必要がある場合に利用可能なリソースを沢山用意しています。

名称	連絡先
従業員の上司	地域の会社一覧を参照
コンプライアンス(法令遵守)責任者、企業統治責任者(メドライン米国本社)	電話: 847.643.3838 Email: complianceoffice@medline.com 郵便: Medline Industries, Inc. One Medline Place, Mundelein, Illinois 60060, USA
法務部責任者(メドライン米国本社)	電話: 847.949.3000 郵便: Medline Industries, Inc. One Medline Place, Mundelein, Illinois 60060, USA
欧州の場合、法務およびコンプライアンス担当者(欧州担当)	電話: +49 (0) 28 21 7510 7528 Email: compliance.europe@medline.com 郵便: Medline International Germany GmbH Wilhelm-Sinsteden-Strasse 5-7 47533 Kleve/Germany
人事担当者	メドライン・ジャパンの組織図一覧を参照
米国外、地域の倫理・コンプライアンス事務所	メドライン・ジャパンの組織図一覧を参照
Medline の倫理・コンプライアンスヘルプライン	31ページの図参照

Medline の倫理・コンプライアンスヘルプライン

匿名で報告する場合(地域法で禁止されていない場合)は、(24間体制の)Medline の倫理・コンプライアンスヘルプライン(フリーダイヤル番号は下表を参照)を使用するか、インターネット(www.medlineethicsandcompliancehelpline.ethicspoint.com)を介して疑念を提起することができます。

国	番号	国	番号
米国	1-866-833-3450	メキシコ	001-800-840-7907; または 001-866-737-6850(英語)
オーストラリア	1-800-339276	オランダ	0800-0226174
オーストリア	0800-291870	ニュージーランド	0800-447737
ベルギー	0800-77004	ノルウェー	800-15654
カナダ	英語: 1-866-833-3450 フランス語: 1-855-350-9393	ポーランド	0-0-800-1211571;
中国	北部: 10-800-712-1239 南部: 10-800-120-1239	プエルトリコ	1-866-833-3450
デンマーク	80-882809	スペイン	900-991498
フランス	0800-902500	スウェーデン	020-79-8729
ドイツ	0800-1016582	スイス	0800-562907
インド	000-800-100-107102; または 000-800-001-6112	台湾	00801-13-7956
アイルランド	1-800615403	タイ	001-800-12-0665204;
日本	006-33-11-2505; または 00531-121520	アラブ首長国連邦(外線から)	8000-021に電話してから866-833-3450にダイヤルする
ルクセンブルグ	800-2-1157	イギリス	08-000328483
マレーシア	1-800-80-8641;	ベトナム	120-11067
		その他の国	503-619-1888



Medline Industries, Inc.
One Medline Place
Mundelein, IL 60060